

# 河川改修・砂防事業による効果（筑後川水系赤谷川）

○赤谷川流域に甚大な被害を及ぼした平成29年7月九州北部豪雨と同規模の雨量を観測し、流域全体で大量の土砂・流木が発生したが、直轄事業にて整備した砂防堰堤のうち計19箇所約10万m<sup>3</sup>の土石流を捕捉して土石流被害を防止するとともに、赤谷川本川への土砂流出を軽減し、そして権限代行により整備した河道にて安全に流下させることで、家屋浸水被害を防いだ。

